



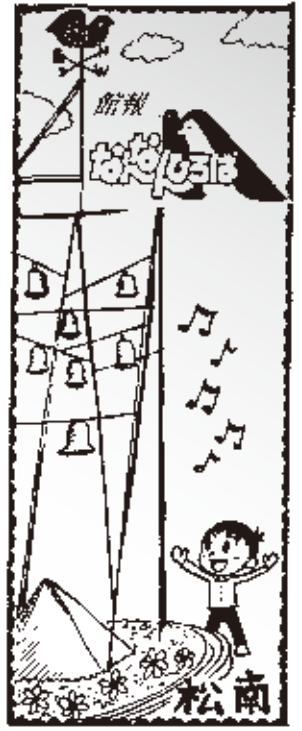
南部公民館が松南地区公民館へ名称変更

ともすれば、なんなんひろばは松南地区の公民館というより、市の南部の基幹公共施設との雰囲気強く感じられる

このなかの「松南地区公民館」は3月末までは「南部公民館」でした。今回の名称変更により地区に合ったものとなり、松南地区だけを管轄する地区公民館という位置づけが明確に示されました。

複合施設、なんなんひろばは、この4月からは駐車場が整備され、周辺の道路も広い直線通りとなり、数年前と大きく様変わりした姿を見せています。また、館の入口には「勤労青少年ホーム」「松南地区公民館」「南部図書館」「南部体育館」の看板が掲げられ、多くの利用者に愛されています。

# 松南地区公民館スタート



(松南地区公民館 館長

上條 恒嗣)

ものがありません。場所的にも規模的にも市内全域、時には県的な事業にも使用されることも多く、おらが町の公民館というにはやや敷居が高かったことは否めません。過去の市政まちかどトークでは、独立した地区公民館を設置してほしいという要望が出されましたが「なんなんひろば」の有効利用をとの市の希望もあり、そのままとなっていました。それが、昨年の4月18日に松南地区町会連合会から「独自の公民館設置」が困難であれば、名称を松南地区公民館にしてほしいとの要望が出され、今回の名称変更となりました。

## 松南地区地域づくりセンター開設

### ●センター長就任あいさつ

松南地区のみなさま、こんにちは。4月1日に「なんなんひろば」内に新たに設置された松南地区地域づくりセンター長に就任いたしました百瀬智です。

とは言いまして昨年4月、市役所地域づくり課松南地区担当として「なんなんひろば」に席を置いて以来、松南地区町会、また各協議団体のみなさまには大変お世話になっております。今回は、この紙面をお借りして、「地域づくりセンター」概要について簡単に説明させていただきます。

「地域づくりセンター」は、これまでの行政の一律的な地域づくりではなく、地区ごとに異なる地域課題や住民組織による活動を踏まえ、住民の方と共に連携してその地区独自の地域づくりを進めていくことを目的に、市内35地区の支所出張所、地区公民館に設置されました。

これまで、地域の学習機能は「地区公民館」、地域の福祉機能は「福祉ひろば」が担ってまいりましたが、センターはこの両者を束ね、新たに地域振興機能という付加価値を地域



6名のスタッフ(右から3人目が百瀬センター長)

住民のみなさまに提供してまいりたいと考えています。

公民館と福祉ひろばと共同して事業や講座を展開しながら、その中で浮かび上がった地域の課題や要望をセンターから町会や各協議団体のみなさま方と相談、協議し、センター、公民館、ひろばが一体となつて松南地区の地域づくりに貢献できたらと考えています。

公民館3名、福祉ひろば2名、そして私の6人のスタッフでセンターを運営してまいります。何かお困りのことや、ご提案など、お気軽にスタッフへお声がけください。

(松南地区 地域づくりセンター

百瀬 智)

## 松南地区公民館の新職員

この4月1日付の人事異動で松南地区公民館が新しい体制になりました。しばらく不在となっていた公民館主事に職員採用3年目のフレッシュマンが、窓口には笑顔が素敵な女性が着任しました。新たにスタートした松南地区センター長は公民館長補佐も併任しますので、4名の体制となります。

- ◇公民館長 上條 恒嗣(再)
- ◇同補佐 百瀬 智(併任)
- ◇同主事 鈴木 賢一(新)
- ◇同臨時 倉科奈津枝(新)

### お世話になります

初めまして、4月から松南地区公民館に配属された鈴木木賢一と申します。公民館主事ということで、これから公民館の窓口・講座をはじめ地区の行事や会議など、なにかと顔を合わせる機会が多くなると思います。一日でも早く地域の皆さんに覚えていただけるよう、また皆さんが住みよい地域をつくるため、精一杯がんばってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(松南地区公民館主事 鈴木 賢一)

# わがまちのお宝 ソメイヨシノを楽しむ

春四月は桜の花を愛でながら花見をして、新芽と花が混在する葉桜もきれいだ。夏は空いっぱい広がった葉の下で涼み、秋には黄色や赤の紅葉を楽しみ、冬は雪を枝に一杯にため、朝の光を反射してまぶしい。

毎日の仕事に追われて木の効用は普段は感じないけれど、桜も毎日生きていく過程において、我々に四季の美しさをもたらしてくれている。

町内には十二本ある。市住A棟の南の二本の桜はかなりの古木だ。その横にはA棟の竣工記念にA棟住民が植えた三本、公民館周辺の五本も古木だ。数年前に枝が折れそうで危ないので枝を伐採した。あと、遊園地に二本、線路側に一本ある。植えた時期は定かではないが、町会の殆どは昭和十四年からあった軍需産業の「ステンレス工場」の寮として存在していた。木造の寮が四棟あり、後に市住となった。北から「松南荘」

「出川荘」「母子寮」「民生館」

その南には広場があり、町会の運動会や、夜には移動映画館が来て、目を輝かせて観たことを思い出す。お盆には櫓を組み、盆踊りで賑やかだった。広場の南には木造の保育園があり、桜も一緒に楽しんでいたと思う。

公民館前の桜の横には町会住民が使っていた「簡易水道」のポンプ所があったが、時代の流れとともに、上水道の使用をするようになった。

そんなさまざま人々の生活の歴史を桜の古木は見ているけども知っているに違いない。  
(館報編集委員 中田 清和)



## ひと 高山 公子さん

賑やかな声がこだまする開明小学校近くにお住まいのデザインナー、高山公子さんをご自宅にお訪ねしました。

「デザイン」とは？の問いに創造(クリエテイティブ)することと答えられ、デザインは様々な場面で日常に、機能的に息づいているとのことでした。

お生まれは、新聞記者をされたおられたお父様の勤務地の水戸で、霞ヶ浦に生息する公魚(ワカサギ)から公子と名づけられたそうです。

お母様は趣味でスケッチを楽しみ洋裁が得意で小さなレースも無駄にせず洋服を手作りしてくれたと懐かしく語っていました。

「きれい」と「不思議」が

好きな子ども時代のそんな環境が影響しているのかな！この道に入るキツカケとなつていけるかな！と笑い、作品は突然の閃きだともご自身の自己主張であるとも話されます。納得ゆくまで試行錯誤を繰り返して120%以上のものをと心がけているそうです。芽吹きの5月は五感を澄ませば感性が磨かれる素敵な季節と目を輝かせていました。

現在の心境を伺ったところ、苦労はあまり感じず、ファイルに自分の分身が増える喜びを実感しているとのことでした。



市清掃車デザイン

事務所を立ち上げてから2年を経過した頃、弟さんに『姉ちゃん、腕を上げたね』と言われ、心の温まる思いがし、力となっているそうです。

デザインナーとしてこの場所で暮らし、生かされた事が幸せと語られ、地域にお役に立つ機会があったら嬉しいと結ばれました。

これからの一層の活躍を期待しつつ訪問を終えました。  
(館報編集委員 田中 紀彦)

### 平成26年度の 新役員のみなさん

●新町会長  
町会の円滑な運営にお世話になります。

◇宮田東 儀八郎さん

◇双葉西 横内 辰男さん  
(担当) 地区社協事務局長

◇双葉西 横内 辰男さん  
(担当) 地区防災会

●新公民館長

町内公民館活動にアイデアを出していただき地区の絆づくりにお世話になります。

◇宮田中 中村 兼祥さん

◇宮田東 金子 幸治さん

◇宮田西 小野 キミ子さん

◇双葉西 山本 律子さん

●新館報編集委員

毎号、タイムリーで楽しい紙面を作ってください。

◇宮田西 高橋 愛子さん

◇宮田東 金子 幸治さん

◇南松本2 務台 享子さん

